



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月9日
東

上場会社名 株式会社 星医療酸器 上場取引所
 コード番号 7634 URL http://www.hosi.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)星 幸男
 問合せ先責任者 (役職名)経理部長 (氏名)高橋 義美 (TEL)03(3899)2101
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 2020年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	5,397	1.6	595	△10.1	594	△12.1	394	△9.9
2020年3月期第2四半期	5,313	3.7	662	18.8	676	18.6	438	12.2

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 503百万円(△3.1%) 2020年3月期第2四半期 519百万円(30.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	121.03	—
2020年3月期第2四半期	133.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	17,888	13,454	74.1
2020年3月期	17,408	13,033	73.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 13,253百万円 2020年3月期 12,834百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2021年3月期	—	25.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,200	3.0	1,290	24.3	1,330	23.7	880	19.8	257.31

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名)、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期2Q	3,420,000株	2020年3月期	3,420,000株
2021年3月期2Q	157,276株	2020年3月期	157,276株
2021年3月期2Q	3,262,724株	2020年3月期2Q	3,272,835株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「連結業績予測などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、COVID-19感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていく中で、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、少しずつ持ち直しつつあります。

このような環境のもと当社グループは、徹底した感染防止策を講じつつ引き続き営業力の強化に注力するとともに、医療・介護・福祉等の現場で、蓄積した各種ノウハウを活用し、多様化する顧客ニーズに即した迅速な対応に努めてまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、連結売上高は5,397百万円（前年同四半期比1.6%増）、連結営業利益は595百万円（前年同四半期比10.1%減）、連結経常利益は594百万円（前年同四半期比12.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は394百万円（前年同四半期比9.9%減）となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

①医療用ガス関連事業

当部門は、COVID-19が世界規模で発生し、医療機関の外来・入院・手術・検査等が減少し、医療用酸素・医療用二酸化炭素の出荷量に影響を及ぼしました。このような環境のもと、COVID-19の感染症対策商材の拡販に注力してまいりました。また、原価を意識した製品価格の見直しや、ランニングコスト全般の経費効率化に取り組んでまいりました。

これらの結果、売上高は1,566百万円（前年同四半期比6.1%減）、セグメント利益は160百万円（前年同四半期比0.6%減）となりました。

②在宅医療関連事業

当部門は、医療需要の伸びが顕著な「CPAP」（持続陽圧呼吸療法）が順調に推移したほか、自社開発の高機能リモコン「パレット」を搭載した酸素濃縮器「WESTELLA（ウイステラ）」が、市場への浸透と新規顧客の獲得に貢献いたしました。また、次世代ヘルスケアとして、情報通信機器を用いた様々な医療サービスが期待される中、医療従事者と患者様の新しい懸け橋として、また、医師不足や遠隔地等、急速に高まる医療需要への対応として「オンライン診療システム」の提供を推進してまいりました。

これらの結果、売上高は2,391百万円（前年同四半期比5.3%増）、セグメント利益は275百万円（前年同四半期比20.8%減）となりました。

③医療用ガス設備工事関連事業

当部門は、医療用ガス設備工事、メンテナンスと医療機関への消火設備工事の施工管理を行っておりますが、医療用ガス設備工事は、建築計画の縮小・延期があり昨年並み、消火設備工事においては、補助金事業開始から6年が経過し該当物件が減少傾向、またCOVID-19感染防止のため医療機関への訪問が限られメンテナンスの延期・中止により事業環境は厳しい状況で推移しました。

これらの結果、売上高は421百万円（前年同四半期比2.0%増）、セグメント利益は31百万円（前年同四半期比54.9%減）となりました。

④介護福祉関連事業

当部門は、介護福祉関連機器のレンタル及び販売部門において、地域包括支援センターや居宅介護支援事業者への継続的な営業活動が奏功し、レンタル売上が順調に推移いたしました。また、訪問看護事業所は、「星医療酸器訪問看護・リハビリステーション巣鴨」（東京都文京区）、「星医療酸器訪問看護・リハビリステーション阿佐ヶ谷」（東京都杉並区）、「星医療酸器訪問看護・リハビリステーション王子」（東京都北区）の3拠点を事業基盤として、地域へのPR活動強化による認知度アップとスタッフの増員など運営体制の充実が奏功し、順調に推移いたしました。

これらの結果、売上高は385百万円（前年同四半期比7.3%増）、セグメント利益は63百万円（前年同四半期比186.3%増）となりました。

⑤施設介護関連事業

当部門は、有料老人ホーム「ライフステージ阿佐ヶ谷」（東京都杉並区）は、24時間看護師常駐、地元医療機関との連携、徹底したCOVID-19の感染拡大防止と状況に応じた付加価値サービスの提供を進め、あわせて、人材の確保・育成体制の強化に注力いたしました。また、入居者様の多様化を把握したうえで、入居者様、ご家族様へ「安心」と「安全」をお届けし、入居率の向上に努めました。また、通所介護施設「あしつよ・文京」（東京都文京区）、「あしつよ 巣鴨」（東京都豊島区）、「あしつよ 王子」（東京都北区）は、地元に着したサービスの提供と顧客ニーズの多様化に応じ、稼働率アップに努めました。

これらの結果、売上高は172百万円（前年同四半期比0.8%増）、セグメント利益は3百万円（前年同四半期セグメント損失1百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は17,888百万円(前連結会計年度末比479百万円増)となりました。これは主に、現金及び預金が553百万円、リース資産が127百万円、投資有価証券が149百万円増加し、受取手形及び売掛金が381百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は4,433百万円(前連結会計年度末比57百万円増)となりました。これは主に、流動負債のうちリース債務が69百万円、固定負債のうちリース債務が73百万円増加し、支払手形及び買掛金が121百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は13,454百万円(前連結会計年度末比421百万円増)となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が313百万円、その他有価証券評価差額金が91百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期通期の連結業績予想につきましては、2020年5月29日発表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,437,834	7,991,219
受取手形及び売掛金	2,302,568	1,920,842
たな卸資産	110,283	144,628
その他	92,363	60,787
貸倒引当金	△4,985	△1,591
流動資産合計	9,938,063	10,115,885
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,076,725	1,054,688
土地	3,323,904	3,323,904
その他(純額)	1,235,187	1,406,154
有形固定資産合計	5,635,816	5,784,747
無形固定資産		
投資その他の資産	16,781	15,441
投資有価証券	862,421	1,012,233
その他	957,515	961,826
貸倒引当金	△1,781	△1,759
投資その他の資産合計	1,818,155	1,972,300
固定資産合計	7,470,754	7,772,488
資産合計	17,408,817	17,888,374
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,822,412	1,700,888
未払法人税等	200,213	205,857
賞与引当金	115,836	114,130
その他	1,015,628	1,060,133
流動負債合計	3,154,090	3,081,008
固定負債		
役員退職慰労引当金	737,580	757,770
長期預り保証金	5,203	5,145
その他	478,803	589,582
固定負債合計	1,221,586	1,352,497
負債合計	4,375,677	4,433,506

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	436,180	436,180
資本剰余金	513,708	513,708
利益剰余金	12,048,418	12,361,723
自己株式	△359,474	△359,474
株主資本合計	12,638,831	12,952,137
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	148,755	240,628
退職給付に係る調整累計額	46,506	60,587
その他の包括利益累計額合計	195,261	301,216
非支配株主持分	199,047	201,515
純資産合計	13,033,140	13,454,868
負債純資産合計	17,408,817	17,888,374

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	5,313,196	5,397,761
売上原価	2,530,603	2,629,028
売上総利益	2,782,593	2,768,733
販売費及び一般管理費	2,120,269	2,173,276
営業利益	662,324	595,456
営業外収益		
受取利息	1,408	1,608
受取配当金	12,960	11,544
受取家賃	3,832	5,124
仕入割引	1,530	2,593
その他	1,649	3,962
営業外収益合計	21,380	24,832
営業外費用		
支払利息	7,134	2,609
災害による損失	—	2,200
自己株式取得費用	—	20,090
その他	—	964
営業外費用合計	7,134	25,864
経常利益	676,570	594,425
特別利益		
資産除去債務戻入益	18,704	—
ゴルフ会員権売却益	74	—
特別利益合計	18,778	—
特別損失		
固定資産売却損	421	—
固定資産除却損	32,932	10,090
ゴルフ会員権評価損	11,500	—
特別損失合計	44,853	10,090
税金等調整前四半期純利益	650,494	584,335
法人税等	208,337	189,168
四半期純利益	442,157	395,167
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,044	293
親会社株主に帰属する四半期純利益	438,113	394,873

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
四半期純利益	442,157	395,167
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	80,562	93,511
退職給付に係る調整額	△3,584	14,617
その他の包括利益合計	76,978	108,129
四半期包括利益	519,135	503,296
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	515,791	500,828
非支配株主に係る四半期包括利益	3,344	2,467

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	介護福祉 関連事業	施設介護 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	1,667,932	2,270,218	413,382	358,785	170,937	4,881,255	431,941	5,313,196
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	45,314	—	—	45,314	—	45,314
計	1,667,932	2,270,218	458,696	358,785	170,937	4,926,570	431,941	5,358,511
セグメント利益 又は損失(△)	161,786	348,037	68,842	22,066	△1,991	598,741	63,582	662,324

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	598,741
「その他」の区分の利益	63,582
セグメント間取引の消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	662,324

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	介護福祉 関連事業	施設介護 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	1,566,344	2,391,421	421,601	385,081	172,280	4,936,728	461,032	5,397,761
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	37,426	—	—	37,426	—	37,426
計	1,566,344	2,391,421	459,027	385,081	172,280	4,974,155	461,032	5,435,188
セグメント利益	160,813	275,604	31,055	63,171	3,811	534,455	61,001	595,456

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	534,455
「その他」の区分の利益	61,001
セグメント間取引の消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	595,456

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

自己株式の取得

当社は、2020年8月25日開催の取締役会において、会社法第459条第1項の規定による当社定款の規定及び同法156条第1項の規定に基づき自己株式を取得およびその具体的な方法として公開買付けを実施することを決議しました。

(1) 自己株式の取得を行う理由

将来的な企業価値の向上および安定的な経営基盤の確保

(2) 取得対象株式の種類

当社普通株式

(3) 取得し得る株式の総数

300,100株

(4) 株式の取得価額の総額

979,826千円

(5) 取得方法

公開買付

(6) 取得期間

2020年8月26日～10月30日

(7) その他

上記、取締役会の決議に基づき、2020年10月16日に当社普通株式を192,400株、取得価額628,186千円で取得しております。